

2026年度

枚方市立第四中学校
2年2学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評価【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評価		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評価「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3) ※高校による

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【2年2学期】

月	単元名		到達目標
8月	報告	「壁に残された伝言」	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。
9月	古文	「枕草子」	・文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・文章を読んで考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深める。 ・それぞれの作品の特徴を生かして音読し、古典に親しむ。
	論説	「味は味覚だけでは決まらない」	・図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ・文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。
10月	文法	「助詞」	・助詞について理解し、学習したことを生かして問題に取り組む。
・単元テスト【範囲】1回目：「壁に残された伝言」「枕草子」 2回目：「助詞」 ・漢字テスト 【提出物】 ・白プリ　・漢字ノート			
10月	古文	「徒然草」	・文章を読んで考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深める。 ・それぞれの作品の特徴を生かして音読し、古典に親しむ。
	情報	情報を関連づける	・文章と図表などを結びつけて複雑の情報を解釈する。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、伝えたいことを明確にする。
11月	文法	「助動詞」	・助動詞について理解し、学習したことを生かして問題に取り組む。
	論説	「動物園でできること」	・文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。
定期テスト【範囲】「徒然草」「味は味覚だけでは決まらない」「情報を関連づける」「文法:助動詞」「漢字」 漢字テスト 【提出物】 ・授業ノート　・白プリ　・漢字ノート			

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	30%	定期テスト・単元テスト・漢字テストなど
思考・判断・表現	30%	定期テスト・単元テスト・発表・作品など
主体的に学習に取り組む態度	40%	ノートなどの提出物・振り返り・授業の取り組みなど

社会【2年2学期】

分野	月	大単元	小単元	到達目標
地 理	8 月 9 月	第3章 4節 中部地方 活発な産業を支える 人々の暮らし	1 中部地方をながめて	・中部地方の地域的特色や地域の課題を理解する。
			2 特色ある東海の産業	・産業を中核とした考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
			3 特色ある中央高地の産業	
			4 特色ある北陸の産業	
		○テスト等：単元テスト(1回)、 単元レポート(1回) ○提出物： 予習プリント 1枚、 ふりかえりシート 1枚		
歴 史	9月	第4章 3節 産業の発達と幕府政治の動き	1 農業や諸産業の発展	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたこと理解する。
			2 都市の繁栄と交通路の整備	
			3 幕府政治の安定と元禄文化	
			4 享保の改革と社会の変化	
			5 田沼意次の政治と寛政の改革	
			6 新しい学問と化政文化	
			7 外国船の出現と天保の改革	
	10月	○テスト等:単元レポート(1回) ○提出物: 予習プリント 2枚、 ふりかえりシート 2枚		
地 理	11 月	第3章 5節 関東地方 様々な地域と結びつく人々の暮らし 3節	1 関東地方をながめて	・関東地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ・交通・通信を中核とした考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を説明できる。
			2 世界と結びつく東京	
			3 東京を生活圏とする人々の暮らしと交通	
			4 関東地方の多様な産業	
	○テスト等:単元レポート(1回) ○提出物: 予習プリント 1枚、 ふりかえりシート 1枚			
	12 月	第3章 6節 東北地方 伝統的な生活・文化を受け継ぐ人々の暮らし	1 東北地方をながめて	・東北地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ・生活・文化を中核とした考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を説明できる。
			2 祭りや年中行事の伝統とその変化	
			3 伝統工芸品の生産・販売とその変化	
			4 過去の継承と未来に向けた社会づくり	
	○テスト等：単元テスト(1回) ○提出物： 予習プリント 1枚、 ふりかえりシート 1枚			

数学【2年2学期】

	単元	小単元	到達目標
8月	3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ	・一次関数について理解すること。 ・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現すること。
	○テスト等： 2章の確認テスト ○提出物： 毎授業のふり返りプリント、章末プリント、レポート		
9月	3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ	・一次関数について理解すること。 ・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現すること。
		2節 一次関数と方程式	・一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 ・2元1次方程式を「関数を表す式」とみることができる。
	○テスト等： 単元テスト(2回) ○提出物： 毎授業のふり返りプリント、ワーク		
10月	3章 一次関数	3節 一次関数の利用	・1次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明することができる。
	○テスト等： 3章の確認テスト ○提出物： 毎授業のふり返りプリント、章末プリント、レポート、ワーク		
	4章 図形の調べ方	1節 平行と合同 2節 図形の性質の利用	・平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ、説明する。 ・平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質が見出すことができる。
11月		3節 証明	・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。
	○テスト等： 単元テスト(2回) ○提出物： 毎授業のふり返りプリント、章末プリント、レポート		
12月	5章 図形の性質と証明	1節 三角形	・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見出したりできる。
		○テスト等： 単元テスト(1回) ○提出物： 毎授業のふり返りプリント、ワーク	

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	(約 30%)	単元テスト・単元レポート・期末テスト・予習プリント
② 思考・判断・表現	(約 35%)	夏休みの宿題・単元テスト・単元レポート・期末テスト・振り返りプリント・授業課題
③ 主体的に取り組む態度	(約 35%)	夏休みの宿題・期末テスト・振り返りプリント・ノート・授業課題・授業に取り組む姿勢
合計 約400点		

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	33%	①単元テスト, 章の確認テスト, 期末テスト
② 思考・判断・表現	33%	②単元テスト, 章の確認テスト, 期末テスト, レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度	34%	③ふり返しプリント, 章末プリント, ワーク, 単元テスト, 授業への取り組みなど

理科【2年2学期】

理科 A

	教材の種類・単元名	到達目標
8月	1章 物質の成り立ち 3 物質のもとになる粒子 2章 物質の表し方 1 物質を表す記号 2 物質を表す式	・物質が原子からできていることを認識する。 ・化学式によって、物質の組成を表すことができるようになる。
9月	1章 物質の成り立ち 4 原子が結びついてできる粒子 2章 3 化学変化を表す式	・物質は原子が複数結合した、分子からできていることを認識する。 ・化学反応式によって、物質の化学変化を表すことができるようになる。
		9月中旬頃に単元テストの予定
10月	3章 さまざまな化学変化	・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。また、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようになる。さらに、酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識する。
		10月下旬頃に単元テストの予定
11月	1章 物質の成り立ち 1 物質を加熱したときの変化 2 水溶液に電流を流したときの変化	・物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。
		2学期期末テスト
12月	4章 化学変化と物質の質量	・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。

理科 B

8月 9月 10月	3章 動物の体のつくりとはたらき	・動物が必要としている栄養分の種類をあげ、消化の意義を説明できる。 ・唾液のはたらきを調べる実験について、他者とかかわりながら、見通しをもって実験を主体的・協働的に計画しようとする。 ・ヒトの呼吸のつくりと肺胞でのガス交換のしくみを説明できる。 ・細胞の活動でできた不要な物質のうち、アンモニアが腎臓などのはたらきで排出されるしくみについて理解する。 ・血液循環の道筋について、心臓や流れる血液の特徴と関連づけて説明できる。
		9月中旬頃に単元テストの予定(理科 A も含む) 10月下旬頃に単元テストの予定(理科 A も含む)
11月	4章 動物の行動のしくみ	・刺激を受け取る器官や伝達する細胞のはたらきを説明できる。 ・刺激から反応までの流れや運動のしくみについて説明できる。
12月	生物の復習	・生物の体のつくりとはたらきについて理解する。

観点別学習状況の評価対象と内容			
①	知識・技能	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
②	思考・判断・表現	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
	主体的に学習に取り組む態度	約33%	提出物・課題

音楽【2年2学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	旋律の動きを理解して合唱しよう(8月～)	・旋律の動きやフレーズ、強弱の変化に注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。
	曲想を生かして表情豊かに歌おう(10月～)	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解し、表現を工夫することができる。
器楽	LESSON3〈左手・右手、サミング〉(8月～)	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫して演奏することができる。
	LESSON4〈高い音、＃や♭の付く音〉(10月～)	
創作	言葉の抑揚やリズムを生かして旋律をつくらう(11月～)	・課題に沿って、創意工夫して旋律を作ることができる。
鑑賞	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう(9月～)	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができる。
	曲の構成に注目しながら曲想の変化を味わおう(11月～)	・オーケストラの響きを味わい、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(25%)	小テスト・実技テスト(歌テスト、リコーダーテスト)
思考・判断・表現(45%)	実技テスト(歌テスト、リコーダーテスト)・ワークシート
主体的に取り組む態度(30%)	ワークシート・授業への取り組み

美術【2年2学期】

月	分野	単元	到達目標
8～10月	工芸	つくって使って味わう工芸 (バターナイフ制作)	材料の特性や質感・加工方法などに着目し、材料の持ち味をとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表すことができる。
			材料のよさや美しさ・使う場面や機能などをもとに、材料の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる
			材料の特性や機能性などを生かしてつくることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる
11～12月	表現	心のイメージを形に (リサイクル作品)	形や色彩・その組み合わせに着目し、廃材を生かして表すことができる
			環境問題を意識し、形や色彩・構成などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる
			感情やイメージなどを形や色彩で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる

観点別学習状況の評価対象と内容(合計:300点)	
知識・技能(30%、90点)	作品等
思考・判断・表現(40%、120点)	計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表等
主体的に取り組む態度(30%、90点)	授業の取り組み(意欲、提出期限)、Fシート等

体育【2年 2 学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
8・9 月	水泳	・リラックスした背浮きの姿勢で、手と足の動作と、呼吸のタイミングを合わせて泳ぐことができるようにする。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。
10 月	バレーボール	・アンダーハンドパス・オーバーハンドパスを用いて、味方が操作しやすい位置にボールを繋ぐことができるようにする。 ・相手側コートを狙った場所に、サービスを打つことができるようにする。 ・自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する方法について考えたことを、言葉や文章で表現できる。
11・12 月	跳び箱	・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるようにする。 ・技の出来映えなど自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する方法について考えたことを、言葉や文章で表現できる。
8 月～ 12 月	保健	・傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当を身に付ける。 ・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。

観点別学習状況の評価対象と内容			
①	知識・技能	約 40%	小テスト、技能テスト等
②	思考・判断・表現	約 30%	ワークシート、小テスト等
③	主体的に学習に取り組む態度	約 30%	ふりかえり、授業への取り組み、提出物等

技術家庭【2年 2 学期】

技術分野			
月	分野	単元	到達目標
9	(技術) 情報に関する技術	ネットワークと情報セキュリティ	著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。
10 11 12		情報処理について	Excel と Word、PowerPoint でデータを処理出来るようにする。
11 12	(技術) 生物育成の技術	生物育成の技術による問題の解決	レタスの育成に適した環境条件を理解し、育成計画を立て、安全・適切に栽培・観察するとともに、生育の過程や結果を記録し、改善点を考えることができる。
家庭分野			
月	分野	単元	到達目標
9 10	(家庭) 私たちの消費生活と環境	私たちの消費生活	契約について理解し、消費者としての自覚を持つことができる。 計画的な金銭管理の必要性について理解できる。 消費者トラブルの事例とその対応策について考え、工夫できる。
11 12	(家庭) 私たちの食生活	日常食の調理と地域の食文化	安全や衛生、食品の性質、調理の技能等を踏まえて工夫して、1 食分の調理を計画して適切にちょうりすることができる。

点別学習状況の評価対象と内容		
以下の①②③を均等の割合で評価します		
① 知識・技能	(30%、90 点)	提出物・定期テスト・実習製作品
② 思考・判断・表現	(40%、120 点)	定期テスト・提出物・実習製作品
③主体的に学習に取り組む態度	(30%、90 点)	授業の取り組み(意欲・提出物など)

英語【2年2学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
8月 9月	Reading 1 The Three Dolls	・物語を読んで、その概要や登場人物の心情をとらえることができる。
	Program 4 Leave Only Footprints	・感情の原因を表す不定詞や助動詞 must / have to の用法を理解し、自分の気持ちや義務について伝え合うことができる。 ・カナダの様子や自然保護について理解し、伝えることができる。 ・修学旅行のルールを考えて書くことができる。
	○テスト等:暗唱テスト・単元テスト ○提出物:単元振り返りシート、授業プリント(E.W.)	
10月	Program 5 Work Experience	・how to ～や〈look+形容詞〉〈become+名詞[形容詞]〉の用法を理解し、何かの仕方や人の様子などについて伝え合うことができる。 ・職場体験や働くことの大切さについて理解し、伝えることができる。 ・人の悩みに対してアドバイスを伝えることができる。
	○テスト等:暗唱テスト・単元テスト ○提出物:単元振り返りシート、授業プリント(E.W.)	
11月	Program 6 High-Tech Nature	・比較級/最上級/as～as…の用法を理解し、大きさや程度などを比べて伝え合うことができる。 ・生物をヒントにして作られたものについて理解し、伝えることができる。 ・自分が取り組んでいる省エネ対策について伝えることができる。
	○テスト等:暗唱テスト・単元テスト ○提出物:単元振り返りシート、授業プリント(E.W.)	
	○パフォーマンステスト	
12月	Our Project 5 日本のおすすめスポットを紹介しよう	・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「日本のおすすめスポットを紹介する」というプレゼンテーションをグループで行うことができる。 ・おすすめスポットの魅力が相手に伝わるように、わかりやすい説明文を書くことができる。
	○テスト等:パフォーマンステスト ○提出物:振り返りシート	

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	約 33%	定期テスト、単元テスト、提出物等
② 思考・判断・表現	約 33%	定期テスト、単元テスト、暗唱テスト、パフォーマンステスト、自主勉ノート、提出物等
③ 主体的に学習に取り組む態度	約 33%	パフォーマンステスト、振り返りシート、自主勉ノート、授業ノート、その他の提出物等